

平成30年(2018年)

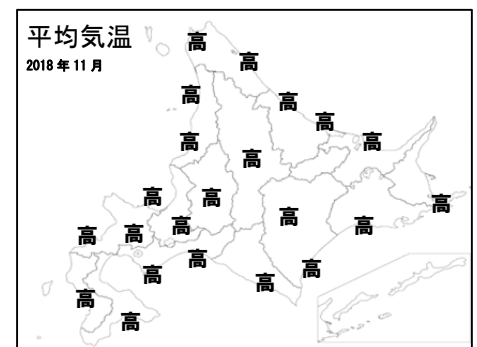
札幌管区気象台 気象防災部  
地球環境・海洋課  
(2018年12月3日)

# 北海道地方 11月の天候

気候表 (データは速報値であり、後日変更される場合があります)

官署名	本年			平年差・平年比			降雪の 深さ合計 cm	月最深 積雪 cm
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %		
稚内	5.0	70.0	55.3	+1.4	58	96	25	10
北見枝幸	4.0	69.5	83.3	+1.3	54	100	42	16
羽幌	5.4	127.0	50.3	+1.2	78	92	23	12
雄武	4.0	36.5	96.9	+1.4	53	96	9	4
留萌	5.3	102.0	57.7	+1.0	71	110	32	17
旭川	3.7	65.0	64.0	+1.8	55	100	41	22
網走	5.1	58.5	120.1	+1.4	98	99	10	8
小樽	6.2	117.0	87.3	+1.5	80	106	18	5
札幌	6.4	73.0	106.8	+1.5	70	107	18	11
岩見沢	5.0	120.0	88.0	+1.3	108	103	112	48
帯広	4.7	30.5	171.5	+1.5	53	103	1	1
釧路	5.5	60.5	159.3	+1.2	95	96	-	0
根室	6.6	52.5	143.4	+1.3	62	98	-	-
寿都	6.8	129.0	69.1	+1.5	91	125	15	7
室蘭	7.9	36.5	115.9	+1.8	49	110	×	0]
苫小牧	6.0	58.0	142.2	+1.3	70	110	3]	3]
浦河	7.0	96.0	150.9	+1.1	119	124	×	×
江差	8.8	73.0	84.2	+1.6	63	126	-	-
函館	7.2	53.0	154.0	+1.5	49	140	6	3
倶知安	4.1	136.5	76.8	+1.3	77	116	104	53
紋別	4.9	33.0	98.4	+1.5	59	91	7	4
広尾	5.8	67.5	157.5	+0.9	49	106	-	-

階級分布図



注)「)」付きの値は欠測を含む。「]」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。  
「×」は欠測を示す。

(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間・降雪量は比(%)を示す)

	気温	階級	降水量	階級	日照時間	階級	降雪量	階級
北海道22地点平均	+1.4	高	71	少	107	並	40	少
日本海側10地点平均	+1.4	高	75	少	108	並	58	少
オホーツク海側4地点平均	+1.4	高	66	少	97	並	38	少
太平洋側8地点平均	+1.3	高	68	少	111	多	7	か少

## 月統計値の記録 (第3位まで)

(詳細は、最終ページの表を参照してください。)

月間日照時間 (多い) 第1位 函館

室蘭、苫小牧、浦河は降雪の深さと最深積雪を欠測した日数が一定の割合を超えたため、降雪量と最深積雪の階級を算出しない。

階級は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階に分けています。  
各階級の幅は、平年値の作成期間(1981年~2010年の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。  
また、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

— 『高温・少雨（少雪）・並照』 寒気弱く、暖かい日が続く —

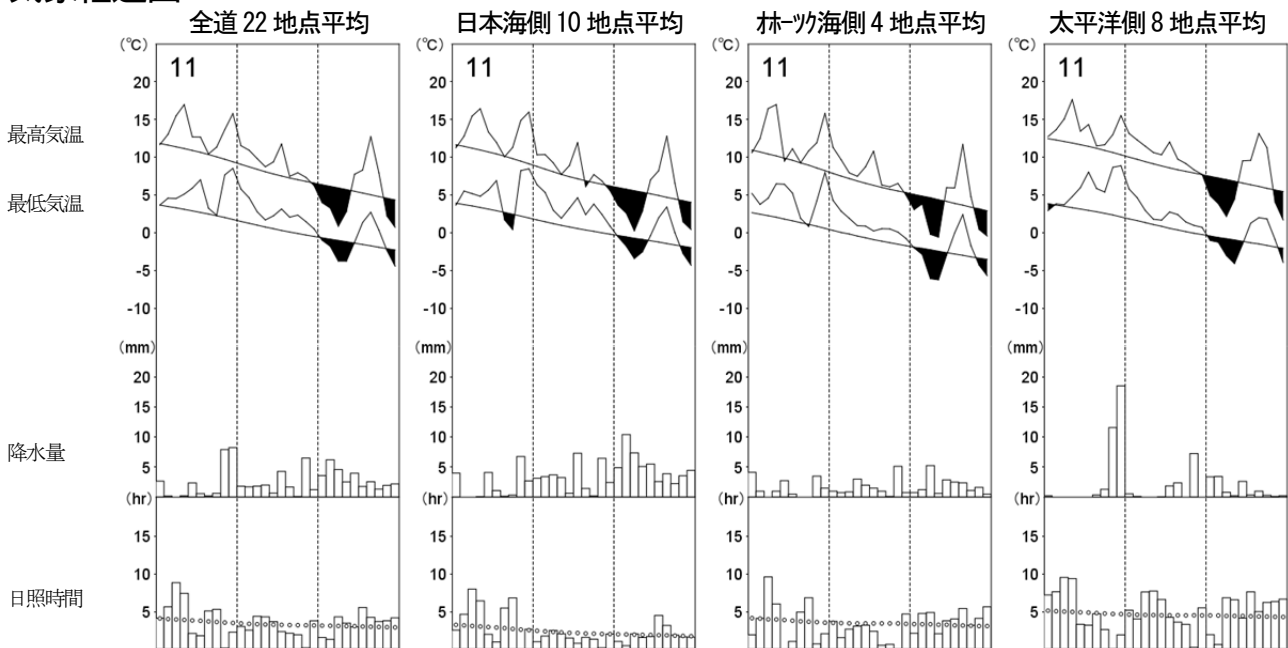
この期間は、上旬の天気は数日の周期で変わった。中旬と下旬は前線や冬型の気圧配置、気圧の谷の影響により日本海側を中心に雨や雪の降った日が多かったが、太平洋側では晴れた日が多かった。気温は上旬は平年よりかなり高く、中旬は高く、月平均気温も高かった。降水量は中旬は平年より少なく、月降水量も少なかった。日照時間は上旬は平年より多かったが、中旬は少なく、月間日照時間は平年並だった。降雪量は上旬と中旬は平年よりかなり少なく、月降雪量は少なかった。

上旬:1日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側では雨の降った所が多かったが、太平洋側では概ね晴れた。2～4日は高気圧に覆われて広い範囲で晴れた。5～6日は気圧の谷の影響により日本海側やオホーツク海側では雨の降った所が多かったが、太平洋側では晴れた所もあった。7日は高気圧に覆われて晴れた所が多かった。8日は高気圧の張り出しの中となって日本海側やオホーツク海側で晴れたが、太平洋側などで雨の降った所があった。9～10日は前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨が降り、大雨となった所もあった。日降水量は9日に白老町森野で216.0mm、10日に羅臼で101.5mmなど。

中旬:11～15日は気圧の谷の影響により日本海側やオホーツク海側で雨や雪の降った所が多かったが、太平洋側では晴れた所が多かった。16日は低気圧からのびる前線の影響により日本海側や太平洋側西部で雨や雪が降ったが、オホーツク海側南部や太平洋側東部では晴れた。17日は冬型の気圧配置となって雨や雪の降った所が多かったが、太平洋側では晴れた所もあった。18日は気圧の谷の影響により曇りで日本海側では雨や雪の降った所があった。19日は低気圧を含む気圧の谷の影響で全道的に雨や雪が降った。20日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側を中心に雨や雪の降った所が多かったが、太平洋側では晴れた所も多かった。

下旬:21～22日は低気圧を含む気圧の谷の影響で全道的に雪や雨が降った。23～24日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側では雪が降ったが、太平洋側では晴れた所が多かった。日降雪量は23日に夕張市鹿の谷で41cmなど。25日ははじめ高気圧の張り出しの中となって晴れた所もあったが、前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨や雪が降った。26日は前線を伴った低気圧の影響により日本海側やオホーツク海側では雨や雪が降ったが、次第に高気圧に覆われて太平洋側を中心に晴れた。27日は高気圧の張り出しの中となってオホーツク海側南部や太平洋側東部で晴れたが、次第に寒冷前線が接近して日本海側や太平洋側西部では雨や雪が降った。28～30日は冬型の気圧配置となって日本海側を中心に雪や雨が降ったが、オホーツク海側南部や太平洋側では晴れた所が多かった。

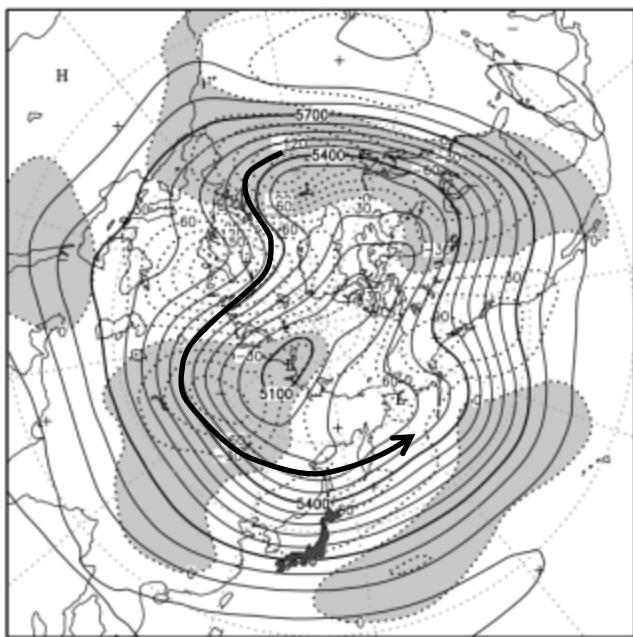
気象経過図



旬別気候表 (気温は平年差(℃)、降水量と日照時間は平年比(%)を示す)

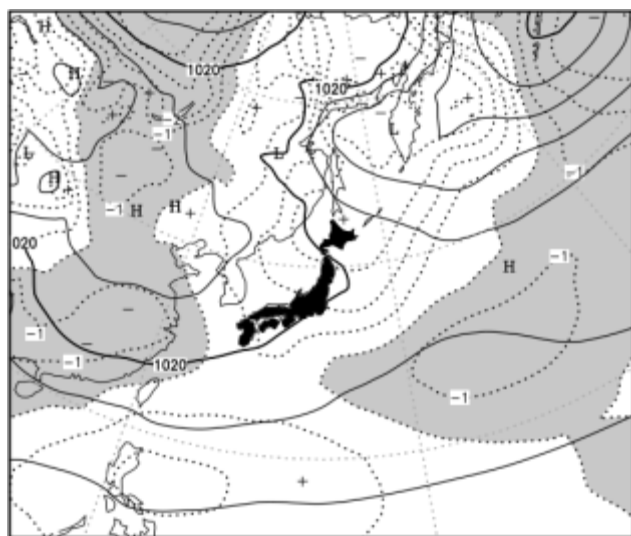
	北海道全域			日本海側			オホーツク海側			太平洋側		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
気温	+2.5 かん高	+1.8 高	-0.2 並	+2.5 かん高	+2.0 高	-0.2 並	+2.9 かん高	+1.8 高	-0.5 低	+2.3 高	+1.7 高	0.0 並
降水	72 並	61 少	82 並	44 かん少	67 少	115 多	52 少	76 並	75 並	117 並	46 少	44 並
日照	117 多	85 少	110 並	135 多	72 少	99 並	99 並	68 かん少	122 多	104 並	109 並	118 多

## 11月の大気の流れ（北半球の平均天気図の特徴）



11月の500hPa天気図

実線：等高線 (m)、点線：高度の年平均偏差 (m)  
 陰影部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。この領域では平年より気温が低い傾向がある。  
 日本の上空では、風は等高線に沿って西から東に吹いている。等高線が南北に波打っている状態は偏西風が進行していることを、等高線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。



11月の地上天気図

実線：等圧線 (hPa)、点線：気圧の年平均偏差 (hPa)  
 陰影部は、平年より気圧が低いことを示す。この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

### ・500hPa（上空約5500m）天気図

寒帯前線ジェット気流は日本付近で平年より北を流れたため、北海道付近は寒気の影響を受けにくかった。また、日本付近は広く正偏差となり暖かい空気に覆われることが多かった。

### ・地上天気図

北海道付近は平年より気圧が高く、高気圧に覆われやすかった。また、カムチャツカ半島付近は明瞭な正偏差となり、北海道付近の冬型の気圧配置は弱く寒気の影響を受けにくかった。

## 北海道上空の気温経過

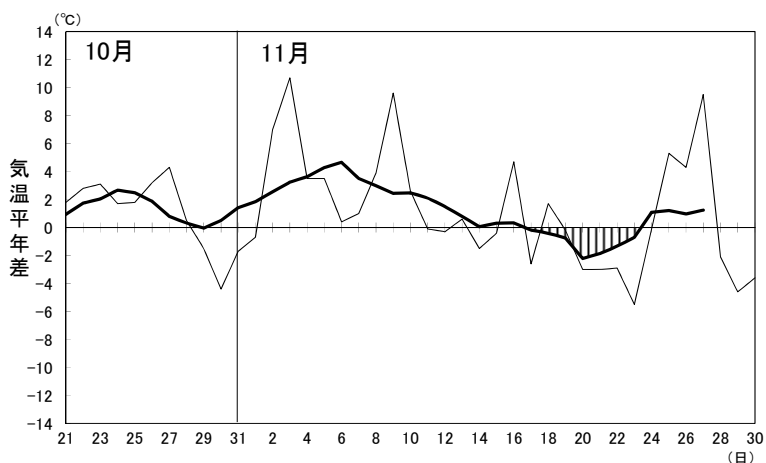
### 11月の札幌における850hPaの気温年平均差

#### ・7日移動平均（太線）

期間の前半は平年を上回ったが、後半は平年を下回る時期があった。

#### ・日別値（細線）

平年を上回る日が多く、上旬や下旬には大きく上回る日もあったが、下旬には平年を下回る日があり、気温の変動が大きかった。



10月下旬から11月の札幌における850hPa（上空約1500m）気温年平均差  
 （細線：日別、太線：7日移動平均、陰影線：7日移動平均の負偏差）

月統計値の記録の詳細（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
11月	月間日照時間 (多い)	第1位	函館	154.0 h	140 %	151.7 (1954)	1890

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課  
TEL (011) 611-6174